



2023年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月10日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
 コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 TEL 088-863-3310
 四半期報告書提出予定日 2023年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第1四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	2,874	11.7	277	23.8	350	29.3	232	25.9
2022年10月期第1四半期	2,573	—	224	—	270	—	184	—

(注) 包括利益 2023年10月期第1四半期 339百万円 (127.1%) 2022年10月期第1四半期 149百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	78.86	—
2022年10月期第1四半期	62.66	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年10月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第1四半期	19,513	14,934	76.5
2022年10月期	19,272	14,654	76.0

(参考) 自己資本 2023年10月期第1四半期 14,934百万円 2022年10月期 14,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,120	9.3	475	△1.9	555	△1.9	360	△2.3	122.02
通期	12,040	5.0	790	19.7	950	17.4	620	21.1	210.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期1Q	3,005,441株	2022年10月期	3,005,441株
② 期末自己株式数	2023年10月期1Q	55,168株	2022年10月期	55,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期1Q	2,950,284株	2022年10月期1Q	2,950,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高が続く状況ではありましたが、政府による政策がウィズコロナの方向に転換していくことを背景として、個人消費や設備投資に改善の兆しが見られました。一方、海外においてはウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高騰、インフレの加速等により先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,874百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は277百万円（同比23.8%増）、経常利益は350百万円（同比29.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円（同比25.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（猟銃事業）

米国市場はこの数年続いた好景気が徐々に減速する気配が指標等から感じられているものの、個人消費は手堅く、コロナ下におけるアウトドアブームを背景とした狩猟やスポーツ射撃の人気に牽引され、当社製品のOEM供給先であるブローニンググループからの受注は堅調に推移しております。特に主力製品である上下二連銃の付加価値の高い製品が好調であり、その結果、売上高は2,376百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は280百万円（同比43.1%増）となりました。

（工作機械事業）

機械部門については、新型コロナウイルス感染症等の影響から、依然として販売は低調に推移しました。また、ツール部門、加工部門ともに売上高は前年同期並みでありましたが、利益は前年同期に比べ減少しました。その結果、売上高は490百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は61百万円（同比29.4%減）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高3百万円を含んでおります。

（その他事業）

その他事業の売上高は11百万円（前年同期比18.2%減）、セグメント損失（営業損失）は0百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高1百万円を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

資産合計は前連結会計年度末に比べて241百万円増加し、19,513百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が448百万円減少したものの、棚卸資産が556百万円、投資有価証券が185百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債合計は前連結会計年度末に比べて38百万円減少し、4,578百万円となりました。

主な要因は、長期借入金が増加したものの、未払法人税等が132百万円、流動負債その他が403百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて279百万円増加し、14,934百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が172百万円、その他有価証券評価差額金が127百万円増加したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,814,904	1,366,052
受取手形及び売掛金	1,862,188	1,940,120
棚卸資産	5,085,957	5,642,015
その他	462,461	420,470
貸倒引当金	△52	△44
流動資産合計	9,225,459	9,368,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,342,667	1,332,154
機械装置及び運搬具（純額）	1,860,133	1,862,462
土地	2,543,918	2,543,918
その他（純額）	538,457	468,103
有形固定資産合計	6,285,177	6,206,638
無形固定資産	87,430	80,644
投資その他の資産		
投資有価証券	3,038,170	3,223,849
その他	649,095	646,648
貸倒引当金	△12,991	△12,991
投資その他の資産合計	3,674,273	3,857,506
固定資産合計	10,046,882	10,144,788
資産合計	19,272,341	19,513,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,201,218	1,267,846
未払法人税等	237,890	105,736
賞与引当金	301,232	210,545
役員賞与引当金	31,867	8,511
その他	944,290	541,236
流動負債合計	2,716,497	2,133,876
固定負債		
長期借入金	700,000	1,200,000
役員退職慰労引当金	195,897	191,142
退職給付に係る負債	648,454	649,756
その他	356,611	403,927
固定負債合計	1,900,963	2,444,826
負債合計	4,617,461	4,578,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	12,472,286	12,644,918
自己株式	△31,276	△31,336
株主資本合計	13,857,915	14,030,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,028	852,920
為替換算調整勘定	71,936	51,290
その他の包括利益累計額合計	796,964	904,211
純資産合計	14,654,880	14,934,699
負債純資産合計	19,272,341	19,513,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
売上高	2,573,419	2,874,867
売上原価	2,046,957	2,270,889
売上総利益	526,462	603,978
販売費及び一般管理費	302,243	326,504
営業利益	224,218	277,473
営業外収益		
受取配当金	16,255	19,967
持分法による投資利益	—	16,159
助成金収入	11,932	8,023
スクラップ売却益	13,342	12,737
その他	9,022	16,674
営業外収益合計	50,552	73,563
営業外費用		
支払利息	203	376
シンジケートローン手数料	—	250
持分法による投資損失	3,562	—
その他	326	361
営業外費用合計	4,091	987
経常利益	270,678	350,048
税金等調整前四半期純利益	270,678	350,048
法人税等	85,817	117,381
四半期純利益	184,860	232,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,860	232,667

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益	184,860	232,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,440	115,486
為替換算調整勘定	1,448	△14,587
持分法適用会社に対する持分相当額	802	6,346
その他の包括利益合計	△35,190	107,246
四半期包括利益	149,670	339,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,670	339,913

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する重要な会計上の見積りに用いた仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,070,552	492,872	2,563,425	9,994	2,573,419	—	2,573,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,288	4,288	4,604	8,892	△8,892	—
計	2,070,552	497,160	2,567,713	14,598	2,582,312	△8,892	2,573,419
セグメント利益	196,413	86,842	283,255	880	284,135	△59,917	224,218

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、IT/IoT/AI事業、木材関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△59,917千円には、セグメント間取引消去1,911千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△61,828千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,376,498	487,494	2,863,993	10,874	2,874,867	—	2,874,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,355	3,355	1,064	4,419	△4,419	—
計	2,376,498	490,850	2,867,348	11,938	2,879,287	△4,419	2,874,867
セグメント利益 又は損失(△)	280,971	61,336	342,308	△451	341,857	△64,384	277,473

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、IT/IoT/AI事業、木材関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64,384千円には、セグメント間取引消去1,653千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△66,037千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。